

安全・安心・住みよいまちづくり

ネットワーク

第 23 号

発行日 平成29年2月27日
発行 白石地区
ネットワーク協議会
責任者 情報交流部会長
大亦見 博

札幌市白石区本通1丁目南2-32 電話 861-8270



就任のご挨拶

● 白石まちづくりセンター

所長 山崎 尚

1月1日に白石まちづくりセンター（まちセン）所長に着任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

12月までは白石区役所の保健福祉部で1年半、庶務業務を担当しており、引き続き白石区での勤務となります。といっても、庶務の仕事は主に部内の事務処理であり、その前も市役所に入庁してからは区役所ではなく本庁などの勤務でありましたので、まちセンのように多くの市民の皆さんのすぐ近くで仕事をするのは初めてになります。ただこれまでも市民や企業などの方々からご意見をうかがう外部委員会の仕事などをしておりましたので、その経験はまちセンでも生かせるのではないかと考えております。

着任したばかりですが、白石地区は町内会の加入率が年々向上するなど、町内会や地域の関係団体の皆さんの熱心な取組とそれに応える住民の方たちのご理解により、まちづくりに向けた意識が高いことを感じています。

先日も、毎年1月に開催されるイベント

「白石・雪であそぼう！ in南郷丘公園」の今年の実施報告会に出席させていただき、実行委員の方々の活発な意見交換の様子に接して、地域の皆さんのまちづくりにかける熱い思いを感じることができました。

歴史にも熱い思いを持つ方が多いことも改めて分かりました。白石地区が宮城県白石市にあった白石城の城主・片倉小十郎の家臣による苦難の開拓から始まって今日の発展を迎えたことはよく知られています。また着用していた甲冑のレプリカが白石区複合庁舎1階の白石郷土館に展示されている初代片倉小十郎の名は、NHK大河ドラマ「伊達政宗」での誠実で優秀な武将として私も以前から知っておりました。こうした偉大な先人たちの歴史を誇りに思うことは、地域への愛着を深める大切なことだと思います。

私も佐々木前所長をはじめとする歴代のまちセン所長の実績を受け継ぎ、「地域が主役のまちづくり」への支援に尽力してまいりたいと考えております。

「白石地区まちづくりビジョン」 勉強会・意見交換会について

● 白石地区ネットワーク協議会 副会長 栗山 文雄

これからは全国的に人口が減少し、少子高齢化がさらに進むと予測されています。われわれの白石地区も例外ではありません。

こうしたなかで昨年の夏、札幌市市民文化局市民自治推進室から浅沼会長あてに10年、20年先を見据えた地域の未来像の実現に向けての「地域まちづくりビジョン」作成の支援をしますとのお話をいただきました。まことに時宜を得た問題であり、ありがたく、早速申込みをし、実施することになりました。そうして、単位町内会など23団体36名の方に参加をお願いしました。

経緯として、勉強会・第1回意見交換会は、平成28年10月30日に実施。勉強会では、詳しい統計データにもとづいた「白石地区の現状と将来予測について」の情報提供を受け、地区の課題等について共有しました。意見交換会では、生活環境、安心・安全、福祉・健康づくり、子ども・子育て支援、賑わい・交流、情報の発信・共有、活動の担い手、関心・意識などの面から白石地区の「魅力」、現状の「課題」、将来「懸念」されることなどについて話し合いました。

第2回意見交換会は、平成28年11月29日に実施。「まちの将来像と取組み」について、事例を交えながらの情報提供を受け、その

後、白石地区の将来像とその実現に向けて必要な取組みを考えました。とくに“白石の歴史”をアイデンティティとしてみんなで育てていくまちづくりについての意見が共感を得ていました。

次の第3回意見交換会は、来る平成29年1月30日に実施予定です。前2回の意見を取りまとめた「白石地区まちづくりビジョン」の素案をもとにみんなで内容を確認し、共有することとしています。

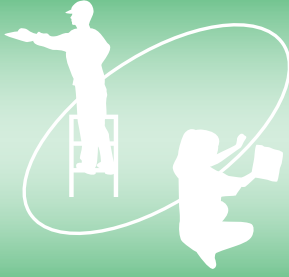
(平成29年1月16日記)



■ 意見を集約してからの説明会



■ 各グループでの討議の様様



地下鉄白石駅構内 タイルアート製作

● 白石地区連合町内会 副会長 米山 一政

今年度、白石区役所より地下鉄白石駅構内タイルアート製作のお話があり、白石地区連合町内会として参加させていただきました。

白石区内のタイルアート事業につきましては平成21年に白石東地区から始まり、その後東白石、東札幌のこころーどのトンネルに原田ミドー先生の指導のもと行われてきており、それに続いての製作となりました。

平成28年10月11日午前10時より白石区役所、白石地区連合町内会、白石地区ネットワーク協議会、原田ミドー先生他関係者にて開会式を製作場所の地下鉄白石駅構内にて行い、製作にあたっての注意事項並びに役割分担を確認し早速タイル割りから始めました。日程は

10月11日（火）	10：00～10：30	開会式
10月11日（火）～19日（水）	10：00～16：00	タイルアート製作
10月20日（木）～21日（金）		仕上げ
10月22日（土）	10：00～10：30	完成式

と12日間にわたり、原田ミドー先生がお書きになった壁画に指示された色の割られたタイルにボンドを付けて貼って行く作業を行いました。期間中は南白石小学校の児童の皆さんが授業の一環として参加して下さったほか、一般の方々も楽しんで参加していただき、また毎日参加して下さった方もおりました。22日の完成式には関係者並びにスポンサーでもあります白石ライオンズクラブの方々にも出席していただきました。地下鉄白石駅構内に行かれた際には、是非皆様にご覧になって頂きたいと思います。



■ 将来を担う子どもたちが製作「歴史の中に絆を」



■ タイルアート完成「人と人とを繋ぐ街」

第13回「白石地区いきいき健康まつり」に参加して

(平成28年9月4日 白石小学校体育館)

● 白石区食生活改善推進員協議会
副会長 **岩原 良子**

「白石地区いきいき健康まつり」のコーナーに初参加致しました。

私たち協議会は「食生活」に配慮し健康で長生き出来ることを目指し、「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンとし、地域の健康づくりを進めるため区民の皆様にお伝えする活動を行っています。

健康まつり会場では「一日350gの野菜摂取」のすすめや「減塩」に関する情報を提供し、塩分計量やだし汁の飲み比べなどを来場者の方々に体験して頂きました。塩分コーナーでは、日常食している「だし汁」を、基本のだしで作ったものと市販の顆粒だしを使用したものとの飲み比べをして頂きま

● 札幌白石の歴史を語る会
会長 **阿部 隆**

私は「歴しるべウォーキング」に参加。白石小→北郷こ線橋→白石環状こ線橋→旧定鉄分岐点→開田碑→白石小に戻るコースで、当会の鈴木会員が説明に当たりました。旧定鉄分岐点では、大正7年10月開業の定鉄は、白石駅を始発駅とし白石中央3-5付近で分岐し、中央2-1付近を経由して東札幌駅に通じており、この区間は昭和16年に旅客営業を、昭和20年3月には貨物も廃止したとのこと。また、白生公園内の開田碑では、碑文の説明があり、明治4年白石藩士が移住開村以来稲作を試み、

した。一日の塩分摂取量や、塩分の取りすぎが生活習慣病を引き起こすことなどを知り、大変参考になったとの声が多くありました。

「健康まつり」の参加を通じて、地域との連携をますます強化し、区民の健康づくり活動を進めてまいりたいと思います。

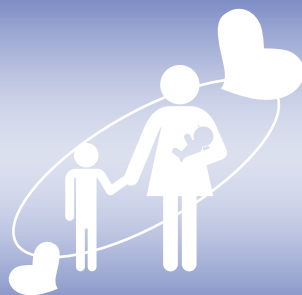


■ 食育コーナーで参加者の方々に健康食について詳しく説明

苦労を重ねて遂に成功、明治16年には種籾70俵を得るに到って、中部北海道稲作の祖となったことなどが記されているとのこと。好天の下、白石区長をはじめ多数の方が参加され、一人の落後者もなく、白石の歴史に触れながらウォーキングを終えました。



■ 歴しるべウォーキングに参加し、目的地目指して



「白石共栄福祉会館」のリニューアル 遅ればせながら仲間に

● 白石共栄福祉会 総務部長 中川 基

私たち白石共栄福祉会は共栄第二、共栄第三、柏丘の3つの町内会で構成され、「白石共栄福祉会館」（平和通7丁目南 Tel864-1060）を拠点として活動をしています。ここでは各町内会の会議・行事等の場所として、また地域の企業、住民の集会場としても使われています。新年度（平成29年4月）からここを活動場所として、私たちは「子育て」「高齢者」「オープン」の3つのサロンを開設することにしました。

「子育てサロン」は4月から毎月第4週の月曜日を開設日と決めて準備を進めています。先進サロンの様子を見に行きスタッフのお話を聞いて参考にしています。ゼロからのスタートですので備品、遊具、おもちゃなどをこれから調達しなければなりません。先輩サロンに余っているもの、不要のものなどがありましたら当方に回していただけますと助かります。

当会館を会場として白石亀楽会、憩の会、柏丘高年健康クラブの3つが活発に活動を続けています。これらの団体の活動のエネルギーをお借りして、「高齢者サロン」の立ち上げを計画しています。それぞれの団体は長い歴史と実績を有していますので、それらを生かす計画を進めています。このサロンは将来は世代間交流の出来る方向を模索したいと考えています。

「オープンサロン」は内容、対象者、開催日など色々な意味で「オープン」ですが、平成29年度は学校の長期休業（夏休み、冬休み）

中に小・中学生を対象にした内容で実施することを検討中です。

今、地域の結束力が問われています。高齢者のみならず孤立している住民が増えています。私たちの取り組みがそれらの人々に対する一灯ともなり、何かお手伝い、お役に立つことを願いつつ準備を進めているところです。

私たちの地域福祉活動に対しまして皆様方のご指導とご協力をお願い致します。



■ アコーディオンの仕切りで大幅に部屋が拡大



■ 男女共用トイレが女性専用トイレに（ベビーベッドを配置）

第9回

まちづくりふれ愛音楽会の開催

(平成28年10月15日 白石中学校体育館)



■ 白石中学校・白石高校初めての合同演奏



■ 合同演奏 総勢114名の生徒達



■ 振り付けも入れながらの白石高校吹奏楽部



■ 大きな声で唱う南白石小学校合唱団



■ 明石先生指揮のもと奏でる白石中学校吹奏楽部



■ オープニングを飾る南郷小学校金管バンド

当日参加者数531名

第12回「白石・雪であそぼう! in 南郷丘公園」に参加して

(平成29年1月6日)

● 白石区保育・子育て支援センター

横山 理子

朝、しんしんと降っていた雪も、出かける頃にはすっかり上がりました。このイベントは、いろいろなコーナーがあり、多くの方と触れ合うことができるので、毎年楽しく参加させて頂いております。今年も会場に着くとすぐに子ども達の会話や姿から、遊ぶ前からわくわくしている様子が伝わってきました。

コーナーごとにいる中学生や高校生のボランティアやスタッフの方が、上手に園児を遊びに誘ってくださるので、子ども達も緊張することなくそれぞれに、好きな遊びを楽しむことができました。特に、そりを引っ張ってもらう『汽車ごっこ』は大人気で、スピードをとっても楽し

んでいました。

様々な年齢の方々と触れ合ったり、一緒に遊んだりできるこのような機会は、子ども達が地域の中で育つことの大切さを実感させて頂ける貴重な時間です。毎年、楽しいイベントを企画・運営してくださっている皆さん、本当にありがとうございました。

■ かけっこ「ヨーイ・ドン」



■ 中学生のお兄さんに助けてもらって「そりすべり」

● 白石中学校 2年

鈴木 颯汰

私が今回感じたことは二つあります。一つ目は、地域の方々のやさしさです。「どうしたらいいですか」と質問すると、ていねいにやさしく教えてくれました。

二つ目はちいさな子に対する接し方の難しさです。ちいさい子は力が弱いので、すもうをするときも、ねばって負けてあげたり、勝ったりと、相手にどれだけ楽しんでもらえるか考えることが難しかったです。けれど、今回の体験はたいへん勉強になりました。



■ 子ども相撲「はっけよーい」

● 柏丘中学校 2年

小谷 優花

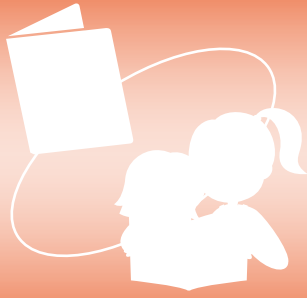
雪で遊ぼうin南郷丘公園でのボランティア活動では、普段は一緒に遊ぶことのない小さな子たちと楽しく遊ぶことができ、とても貴重な経験になりました。また、今回は二度目の参加でした。去年の経験を生かしながら活動することを心がけ、小さな子たちとの会話は少しは上手にできたように思います。ボランティアに参加したからこそ学べることも多くあり、本当に充実した、楽しい活動をすることができました。



■ 「お口にボン」ボール入れ、入るかな？



■ 「色雪あそび」の色雪をつくって！



こんにちは！ 札幌市えほん図書館です

● 札幌市えほん図書館 館長 本間 雅恵

平成28年11月7日、札幌市で初めてとなる絵本専門の図書館、札幌市えほん図書館が白石区複合庁舎6階に開館しました。開館に際し、南郷丘町内会の皆様から壁掛け時計をご寄贈いただくなど、多くの市民の皆様からご協力をいただきましたことに、改めて感謝申し上げます。

えほん図書館は、小さな子どもたちが主役です。多種多様な絵本など1万5千冊を揃え、色彩豊かな絵本の表紙を見ながら、子どもたちが直接手に取って選びやすいように、背の低い書架に並べています。声を出して読み聞かせができるほか、年齢別お

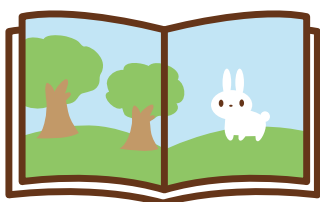
はなし会を開催するなど、子どもたちが楽しみながら絵本と親しみ、学ぶ場を提供します。

開館から約3カ月経ちますが、白石区はもとより、市内全域からたくさんの方々が訪れており、楽しそうに絵本を選ぶ子どもたちや、仲睦まじく読み聞かせをする家族の姿が館内にあふれています。

今後も、子どもたちが何度も足を運びたいくなるような図書館づくりを目指してまいりますので、白石区民の皆様のご利用とご協力をよろしくお願いいたします。



■ おはなし会の模様



■ えほんを見ながら親子でお話し

地域の振興に広く貢献された皆様 受賞おめでとうございます！



● 浅沼英樹様

平成28年度札幌市自治振興功労者表彰

白石地区連合町内会会長、白石中央第一町内会会長など、町内会の役員を務め、白石区共同募金委員会会長や白石区社会福祉協議会評議員・理事として活躍するなど、多年にわたり地域住民活動に尽力し、地域の自治振興に大きく貢献されました。



● 田中博様

平成28年度札幌市社会教育功労者表彰

南郷地区体育振興会副会長などの役員を務め、各種スポーツ行事の開催に尽力したほか、栄通二・三町内会青少年部長として、青少年の健全育成に取り組むなど、多年にわたり地域におけるスポーツ活動及び社会教育の振興に貢献されました。



● 坪田敏男様

平成28年度北海道社会貢献賞（青少年健全育成功労者）

昭和57年に札幌市白石地区青少年育成委員会委員に就任し、平成21年からは同地区会長として、非行防止の取り組みや子ども達の社会参加、学校・地域・行政関係の三者交流会など、様々な事業を牽引されました。また、昭和59年から札幌市スポーツ推進委員会委員としてスポーツ大会や三世代交流会を企画・運営するなど、青少年の健全育成と環境づくりの推進に貢献されました。



● 岩澤昌策様

平成28年度統計功績者表彰（統計調査員表彰）/総務大臣

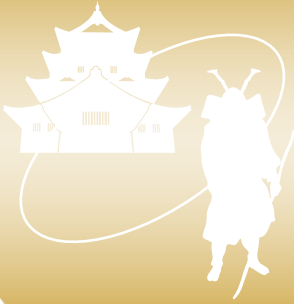
平成6年商業統計調査から統計調査員として調査に従事し、平成22年からは白石地区統計調査員協議会会長に就任され統計調査に貢献されました。特に国勢調査に関しては、平成17年・平成22年・平成27年と指導員を務めて調査の無事完了に貢献されました。



● 佐藤昌幸様

平成28年度知事感謝状（統計功労者）20年級

平成7年国勢調査から統計調査員として調査に従事し、20年の長きにわたって統計調査に貢献されました。平成22年からは白石地区統計調査員協議会の副会長として地域の統計調査員の親睦などに貢献されました。



白石の歴史がわかる、学べる 白石郷土館（白石区複合庁舎1階）

白石開拓の歴史を写真や貴重な資料などで紹介しております。白石区と宮城県白石市のゆかりなどを学ぶことができます。



行事予定

4月22日（土）

白石地区連合町内会総会

会場：白石会館

4月

通学パトロール開始

(白石小・南郷小・南白石小・西白石小・本通小)

5月17日（水）

青色回転灯装備車連絡協議会(青パトの会)
定期総会

会場：白石会館

5月19日（金）

白石地区社会福祉協議会総会

会場：白石会館

5月24日（水）

白石地区ネットワーク協議会総会

会場：白石会館

編集後記

今季の冬は例年になく、12月初旬大雪に見舞われ、生活道路にも支障が生じました。交通の不便さは長い時間かかりましたが、ようやく解消に向けての動きが進んできているところです。

さらに、全国的に大寒波が襲い、流通が滞る事態となり、ちょっと怖さを感じたものです。

広報誌「ネットワーク」の編集委員に、新入委員として2名加わることになり、新鮮な感じの中で23号を刊行することができました。

皆様方の地域活動の実態・情報を丁寧に発信できるよう、できる限り努力してお伝えしてまいります。

情報交流部会一同